

HACCPに関する経営者のコミットメント



農場HACCP導入の目的と衛生管理方針

(目的)

1. 日本SPF豚協会の定める生産方式に基づき安全な種豚及び精液を生産・供給し、日本の養豚産業の発展と広く社会に貢献すること。
2. 健康な豚を育て、安心・安全な豚肉を日本の食卓に供給していくこと。
3. 農場HACCPを継続することで、家畜飼養衛生管理基準を遵守し、持続可能な養豚を目指すこと。

(衛生管理方針)

1. HACCP手法を取り入れた衛生管理を行うことで、高品質で安全な種豚、子豚、肉豚、精液を安定的に供給していく。
2. 農場HACCPに基づく衛生管理レベルを向上すべく人材を育成する。
3. 管理システムの改善、農場設備の計画的なリニューアルにより、バイオセキュリティレベルを向上させる。
4. コンプライアンス遵守を徹底する。

所在地 東京都江東区亀戸2-35-13
経営者代表取締役 小南 博義
作成日 2023年4月1日

株式会社 **シムコ**